

## ◆ 地域通信 ◆

佐伯文芸クラブ 代表 **今田 進 さん**



今回は、今年度より、さくら de ファミリー佐伯・今昔物語のコーナーに寄稿いただいている佐伯文芸クラブ代表 今田 進さんにインタビューしてまいりました。

今田さんは、1934年（昭和9年）生まれの86才。歴史以外にも、短歌・俳句・漢詩・民話・民謡など多趣味で、好奇心のかたまりのような方です。そんな今田さんが、本格的に歴史に興味を持ったのは、中学校に赴任してこられた細田先生との出会いが始まりでした。被爆者でもある先生の歴史の授業や被爆体験はとても興味深く、ケンカばかりしていた不良少年の自分を更生させてくれたのが先生だったそうです。毎週のように、先生や仲間たちと佐伯の神社仏閣巡りをし、調べたりまとめたりしていたのが現在の活動のきっかけとなりました。

また、今田さんのお父さんの世代に流行ったスペイン風邪（1918～1921）のお話は、現在のコロナ禍を彷彿とさせるものでした。大正7年当時、2300万人の罹患者のうち、38万8000人が死亡。旧佐伯町でもこの期間に建てられたお墓がとても多いという衝撃的な事実でした。地方にまで感染が広がっていたのがよくわかります。たくさんの史実や貴重な体験談をお話しいただき、あっという間の時間でした。



記事協力 佐伯文芸クラブ 代表 今田 進

### 佐伯・今昔物語

#### その二 中山城と相良遠江の語

今は昔、中山城の城主が相良遠江守春忠（さかがらとうとうみのかみはるただ）だった頃のことを話そう。

周防（山口県東部）以下七カ国の守護大名だった、山口の大内義隆は天文二十年（一五五一）九月一日、家臣の陶尾張守晴賢（すえおわりのかみはるただ）の謀反により、長門布引の大寧寺で自害する、という事件が起きた。

義隆は陶晴賢の軍に囲まれ、津和野の吉見正頼と吉田の毛利元就宛てに「自分は賊臣、陶晴賢のために殺され、遺恨を抱きながら死なんとしているが、そなたが敵（晴賢）を討ってくだされば、ほかに討つ人はいない」という書状を書いて家臣の相良春忠に持たせた。

書状を受け取った春忠は、陶軍の囲みをぬけて大寧寺の裏山から、津和野の吉見氏と吉田の毛利氏に、それぞれ書状を届けた。

毛利元就は謀反者の陶晴賢を征伐する勅許を京都の朝廷からもらい、天文二十年十月下旬から中山城の改修を相良春忠に行かせた。中山城を中心にした配陣は現在、鷹ノ巣ゴルフ場一帯の引寄山、土蔵の岑、井手谷山、玖島川上の中倉山、友田岩組の高立、ごう岩の城（高森の城）、法殿寺、陣が原、広原うるしぎ口、河津原八幡の迫、重岩谷、南ヶ原、ねこが谷、さきがさき、八幡原、迫の原（樋が平）、黒谷三角山の城（勝成山）、峠の狼城、あしづけの尾、津田半秀寺の前、さやく大明神の原、永泰寺、横矢および神宮原小原城、内山小城、浅原大板ヶ原高森城、藤尾城、峠の権現岩黒のひのかけ城、鍵岩の城八幡原、川成丸山城（友田）、大野大頭神社の北方折ヶ峠の大野瀧城、玖島庄の松城、玖島平谷の大峯の城などだった、という。

## お知らせコーナー

### ☂ 傘のお忘れ物 処分します！

市民活動センターの傘立てに長期間そのままになっている傘を、10月31日で処分させていただきます。お心当たりの方は、お早めに1階事務局までお越しください。

### 市民活動センター 移動棚・外倉庫ご契約団体のみなさまへ

10月1日～12月10日までの期間に、移動棚・外倉庫の整理整頓をお願いしたいと思います。事前に希望日をセンター事務局までご連絡ください。尚、ご都合のよい日が重なった場合は、申請の先着順とさせていただきますのでご了承ください。

**\*\*お問い合わせ先\*\*** 廿日市市民活動センター  
廿日市市住吉 2-2-16 ☎0829-32-3741 fax0829-32-3742  
HPアドレス <http://www.hatnet.jp/>  
f <https://www.facebook.com/shiminkatsudo.hatsukaichi>

**\*\*ネットワーク現在の状況\*\***  
(令和2年9月末現在)  
登録団体 **152** 団体

## — 市民活動情報紙 —

# さくら de ファミリー

廿日市市民活動センター  
令和2年秋号  
Vol. 53

## 提案型連携事業 決定！

提案型連携事業は、市民活動センターに集う市民活動団体同士が連携し、事業や活動を通じて、お互いに支え合うことで他の団体に興味を持ち、理解することによりそれぞれの得意分野を活かした、よりよい活動が展開されることを目的として実施します。応募した団体が9月10日の運営協議会でプレゼンテーションし、審査・選考した結果、次の事業に決定しました。

### ●こども絵画展

会期：10月14日(水)～10月18日(日)  
場所：はつかいち美術ギャラリー 第3展示室

★廿日市市内の小学生・中学生に自由なテーマで絵を描いてもらい、全応募作品を展示する。

主催：青少年夢プラン実行委員会  
連携：廿日市警察署管内  
少年補導員連絡協議会



### ●親子ふれあいウォーキング

日 程：12月12日(土)  
参加費：200円(傷害保険含む)  
募集期間：11月4日(水)～11月27日(金)  
★親子ウォーキングを通じて、地域全体で明るいこどもを育て、健康な体と活発な体力をつけることを目的とし、助け合う心、思いやりの気持ちを育てる。

主催：青少年育成廿日市市民会議  
連携：廿日市市ウォーキング  
リーダー会



## 避難訓練・大掃除を行います

12/11(金)

当センターでは、8月と12月に消防避難訓練を行っています。12月の消防避難訓練は11日(金)10:00から行います。当日は訓練終了後、年に1度の大掃除(1時間程度)を行います。昨年はたくさんの方に参加いただき、掃除後は団体間での交流や情報交換で盛り上がっていました。



昨年の様子

## 登録団体交流会を中止します

例年、12月第一土曜日に開催しておりました登録団体交流会（ペタンク大会）は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本年度は中止することといたしました。

ご参加を検討いただいていた皆様にはご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳ございません。何とぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 有料活動室の予約ルールが変更になりました！

有料活動室（第1研修室・第2研修室・第3研修室・和室）の貸室予約ルールが変更になりました。ルール変更の適用は、2020年（令和2年）11月1日のご利用からとなります。詳しい変更内容は、廿日市市民活動センター事務局まで、お問い合わせください。

### チラシ募集します！

各登録団体のイベントや会員募集など、みなさんに広く知ってもらいたいお知らせを市民活動センターHPに掲載します。掲載希望の団体は、チラシをご持参いただくか、メールにて添付してください。たくさんのご応募お待ちしております！





## ネットワーク団体紹介

# \*しりあっChaO\*



今回は新しくネットワーク登録団体に加入された2団体をご紹介します。

## 地御前郷土文化保存会

地御前郷土文化保存会は、地御前地区自治会と連携し、「地域の歴史的固有財産や文化的生活様式を次世代に継承すること、住み良いまちづくりに寄与すること」を目的として活動しています。

今年はコロナウィルス感染症予防のため、事業の縮小、変更、中止を余儀なくされておりますが、例年は毎月1回の伝承講座で、地域の伝統民謡、盆踊り、俵もみ音頭を学び、地域の園児や児童たちと盆踊りや秋祭りの俵もみ、とんど祭りに参加しています。ほかにも小学生の学習支援として、カキ養殖体験や史跡めぐりのガイド役をつとめたり、地域の文化財の維持管理にも携わっています。



流鏝馬神事



俵もみ

地御前郷土文化保存会  
代表 美川 忍

## 廿日市市佐伯ボランティアグループ連絡協議会 ひまわり会



ひまわり会は、平成7年10月に近隣に住む住民の参加と協力を得て、「奉仕の精神」のもと「真心と誠意」をもって在宅高齢者や障がい者（児）、困難を抱えた家庭など利用者と協力が「お互いさま」の気持ちで助け合うことを目的に発足しました。

主にボランティアグループや個人のボランティア活動を支援し、またボランティア同士の親睦を深める交流会なども企画しています。

最近では、れすとはうす花かごで常設のお茶の間サロン「花かご」の運営を担い、同じ地域に住む一人一人に気をかけ、人と人とのつながりを大切に地域での見守りや支えあい活動に取り組んでいます。花かごが開いているときは誰でも参加できます。ぜひ、遊びにいらしてください。

◆お問合せ先◆廿日市市社会福祉協議会 佐伯事務所 ボランティアセンター TEL0829 (72) 0868



サロンで百歳体操



れすとはうす花かご

地元小学生と緑化活動

## 地域交流事業



## ふれあいミニキャンプ



8月8日、廿日市市市民活動センター運営協議会と青少年育成廿日市市民会議による共催で行いました。今年はコロナ禍ということもあり、軒並み、登録団体のみなさまの行事も日程変更や中止となっている中、なんとか、子供たち主体の行事だけは開催してあげたいという思いで、検温や手指の消毒、3密を避けるなど、感染症予防対策をしながらの実施となりました。

住吉堤桜並木ウォーキングでは、日本シェアリングネイチャー協会の住吉和子先生に野外ネイチャーゲームをご指導いただき、季節の葉っぱや夏を感じる音やかおり、虫など熱心に探しました。

工作教室の「ペットボトル風鈴」は、細かい作業が続きましたが、みんな集中して取り組みました。「空気砲」は出来上がった後の班対抗の射的ゲームが大盛り上がり。また、暗く涼しい部屋の中でのブラックライト紙芝居では、子供たちはすっかり物語の世界に引き込まれていました。

ネットワーク登録団体メンバーは、子どもたちのサポートとカレー作りを行い、交流も図れ充実した内容となりました。今年はいつもと違う短い夏休みでしたが、そんな中で今回のふれあいミニキャンプが、ささやかな思い出になってくれればと願うばかりです。



## 第32回 青少年育成廿日市市民大会 開催！

9月6日、台風10号の影響を危惧しながら、ウッドワンさくらびあ（はつかいち文化ホール）大ホールにて、第32回 青少年育成廿日市市民大会が開催されました。

### 大会趣旨

廿日市市が、21世紀にふさわしい創造的で文化的な活力ある“まち”を築くために、その担い手である青少年が、現在を充実して生きると同時に、地域社会の一員として、これからの社会変化に主体的に対応できる資質と意欲を持ち、活気に満ちた人間として自己形成をしていくことが望まれます。

そのため、青少年育成廿日市市民会議では、自立心や人間同士のふれあいを大切にする心など社会性に富んだ青少年の育成を願い、地域・学校・関係機関・関係団体と相携えていろいろな活動を実施しています。

この度、私たち市民会議の活動を広く市民に啓発し、青少年の市民参加活動を促すことによりその成果をあげ、これを確かめるために開催いたしました。

なお、本年度は、検温・換気・人数制限で距離を設けるなど、新型コロナウイルス感染症予防対策をして実施しました。

